

## 平成22年度事業計画(案)について

### 基本方針

県民の悲願である「東北新幹線全線開業元年」を迎え、開業効果の県内全域への波及を図るため、青森県の総力を結集した誘客対策として、県や関係団体、JR等と連携しながら、首都圏を青森県の雰囲気埋め尽くす「情報交流拠点・東京ジャック」の実施等を柱とするオープニングキャンペーンを実施する。

また、新幹線開業効果の持続・拡大と本県の観光力の強化を図るため、平成23年4月23日から7月22日までの3か月間、全国のJRグループ6社の協力の下、本県初の単独デスティネーションキャンペーンを実施することとし、これを推進するための各種事業を展開する。

さらに、海外からの観光客の誘致促進を図るため、韓国や台湾に加え、中国の中でも所得が高く、海外旅行志向の高い香港を新たな重点市場として位置付け、積極的な誘客活動を展開するとともに、本県観光産業の振興に直接的な効果が高い教育旅行やコンベンションの誘致にも重点的に取り組む。

開業による交流人口の増加をふまえ、青森県観光物産館の情報発信力の拡大や施設内外の魅力の向上に取り組み、引き続き、本県観光物産振興拠点施設としての機能強化を図っていく。

### 1 観光振興事業

#### (1) 観光案内所運営事業

東北新幹線全線開業による新幹線開業効果の県内全域への波及を図るためには、本県観光情報の発信、観光客受入体制の整備がますます重要となる。

このような中、各観光案内所は、本県の観光物産の情報発信の拠点として、これまで以上に観光案内機能が求められるため、引き続き、各観光案内所の運営強化を図ることとする。

##### ① 青森県観光総合案内所（県補助事業）

所在地：青森市安方1-1-40 青森県観光物産館「アスパム」1階  
※平成22年3月に青森県観光物産館2階の観光案内所をより来場者の多い1階に移転しリニューアルオープンした。

##### ② 青森県東京観光案内所（県補助事業）

所在地：東京都千代田区「青森県会館」1階

- ③ 青森空港総合案内所における観光案内業務  
運営主体：青森空港ビル株式会社  
所在地：青森市大谷字小谷 1-5 青森空港ビル 1 階
- ④ 青森県ミニ観光案内所ネットワーク事業  
「青森県ミニ観光案内所」に指定されている県内のガソリンスタンド、  
ドライブイン等に、イベントガイドブック及び観光マップ等を配付し、県  
内の観光情報のネットワーク化を図る。（指定箇所：85 か所）

## （2）観光情報発信事業

- ① 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業） 【拡充】  
昨年 10 月にリニューアルされた青森県観光情報サイト「アプティネット」  
を、県・市町村の観光担当者等が直接観光情報を更新できる観光情報  
サイトとして運営する。  
また、本年 4 月 1 日からは、新たに英語、韓国語、中国語（簡体字、繁  
体字）の 4 言語による観光情報を提供する。
- ② 「あおもり観光サーベイ」推進事業（県補助事業）  
多様なニーズを持った観光客の心に響く情報やサービスを提供できる  
体制を全県的に築くため、「あおもり観光サーベイ」サイトの運営等を行  
う。

## （3）教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、各種事業を実施する。  
特に、東北新幹線全線開業は、教育旅行誘致の好機となることから、教  
育旅行関係団体・旅行エージェント等との連携強化を図りながら取り組む。

- ① 教育旅行専門部会等の開催
- ② 教育旅行促進強化事業（県委託事業）
- ア 教育旅行誘致資料等の作成等
- ・ あおもり教育旅行ガイドブック 2011 の作成・配布
    - ◆ 製作部数：15,000 部（予定）
  - ・ 青森県教育旅行ホームページの更新
  - ・ あおもり教育旅行 PR 用 DVD の追加製作
    - ◆ 製作部数：2,000 部（予定）
  - ・ あおもり教育旅行ガイドブック 2010（概要版）の作成【新規】
    - ◆ 製作部数：30,000 部（予定）
- イ 教育旅行実施状況調査の実施
- ・ 衛生指導依頼書からの推計値調査
  - ・ 県内宿泊施設に対する調査

- ウ 教育旅行関係団体・旅行エージェントとの連携強化【新規】
  - ・教育旅行関係団体、旅行エージェントの担当者を本県に招聘
    - ◆実施時期：平成 22 年 6 月（予定）
    - ◆内 容：首都圏の教育旅行関係団体・エージェント等を招聘し、県内の現地視察を実施。
- エ 学校関係者・旅行エージェントに対する情報提供
  - ・首都圏対策
    - 旅行エージェントキャラバンの実施
    - 東北教育旅行事例発表会への参加
    - 教育旅行シンポジウムへの参加
    - 全国修学旅行研究大会への参加
    - 首都圏の学校訪問
  - ・北海道対策
    - 旅行エージェントキャラバンの実施
    - 北東北 3 県合同教育旅行情報交換会への参加
  - ・関西圏対策
    - 旅行エージェントキャラバンの実施【新規】
    - 関西圏教育旅行事例発表会への参加
  - ・全国対策【新規】
    - 本県で開催される教育関係のコンベンション参加者に「あおもり教育旅行ガイドブック 2010（概要版）」を配布

#### （４）コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に直接的な効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の強力な動機付けとなる開催助成金交付事業を実施するとともに、誘致活動に取り組む。

また、県の緊急雇用創出対策事業により、昨年度から引き続きコンベンション調査員を配置し、コンベンションの誘致環境について調査するとともに、コンベンション開催による社会的・経済的効果についても検証し、コンベンション開催の意義を広く県民、観光事業者等に周知させ、官民が連携した誘致環境を形成する。

- ① コンベンション誘致専門部会等の開催
- ② コンベンション誘致促進事業（県補助事業）
  - ア コンベンション開催費補助
    - ・コンベンション主催者に対し、開催助成金を交付する。
  - イ コンベンション誘致活動事業
    - ・開催助成金制度のPRや首都圏等への誘致活動を実施する。

- ③ コンベンション誘致調査事業（県委託事業）
- ア コンベンション誘致環境調査（データベース作成）
- ・ コンベンションが開催可能な施設の最新情報の収集
  - ・ 本県で開催する可能性のあるコンベンション及びその主催者（各種団体、企業等）のリスト作成
  - ・ 大学関係者及び誘致の可能性のある学会等のリスト作成
- イ コンベンション開催効果調査
- ・ 上記データベースを基に、県内外のコンベンション関係者を対象に調査を実施し、コンベンション開催の意義、効果、消費額等のとりまとめ
- ◆実施期間 平成 21 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ◆配置人員 2 名

(5) 外国人観光客誘致事業

韓国、台湾に加え、新たに香港についても積極的な誘致活動を展開するとともに、「上海万国博覧会・青森県ウィーク」実行委員会に参画し、上海万博の会場において観光情報を発信する。

また、東北新幹線全線開業、青森・ソウル線就航 15 周年の節目にあたることから、韓国の著名な俳優を活用した PR 事業を展開する。

- ① 国際観光誘客専門部会等の開催
- ② 韓国人観光客誘致拡大事業（県委託事業）
- 青森・ソウル国際定期便を利用した韓国からの誘客を促進するため、大韓航空、韓国旅行エージェント等とタイアップした誘客宣伝事業等を実施する。
- ア 主力商品販売対策
- イ 閑散期販売対策
- ウ 教育旅行誘致対策
- エ 知名度向上特別事業
- オ トレッキングツアー誘致推進事業
- ③ 韓国情報発信力強化事業（県委託事業）
- 韓国人専門家等を招聘し、韓国人の視点から本県観光資源等を評価・検証し、韓国からの個人客がひとり歩きできるよう情報発信を行う。
- また、新規旅行モデルの企画や商品化を図るため、コンペ方式により韓国旅行代理店に助成する。
- ④ 韓国人スター活用青森観光 PR 事業【新規】
- 本年が東北新幹線全線開業、青森・ソウル線就航 15 周年の節目にあたることから、韓国の著名な俳優を活用し、韓国での青森県の認知度アップ、

韓国人観光客や国内韓流ファンの誘客拡大を図る。

⑤ 国際観光誘客促進事業

ア 台湾対策（県委託事業）

- ・青森県台湾観光プロモーションの実施  
台湾台北市においてエージェント訪問、商談会等に参加
- ・青森県内観光事業者指導業務  
台湾・香港観光アドバイザーによるセミナーを開催し、併せて県内観光事業者への指導・助言を行う。

・マスコミ招聘

イ 香港対策（県委託事業）【新規】

- ・青森県香港観光プロモーションの実施  
香港においてエージェント訪問、商談会等に参加

ウ 上海対策【新規】

- ・上海万国博覧会・青森県ウィーク実行委員会への参画  
開催期間：平成 22 年 7 月 6 日（火）～7 月 11 日（水）  
開催場所：万博会場「日本産業館」屋外ステージ

⑥ 国際観光サポート事業（県委託事業）

県のふるさと雇用再生特別対策事業により、昨年度に引き続き語学に堪能な人材を雇用し、県内の観光事業者の受入意識を向上させるとともに、観光地の宿泊施設や観光施設等の外国語表記等を助言し、外国人観光客に対する受入体制を整備していく。

ア 外国人受入セミナー開催

県内の観光事業に従事する人を対象に、セミナーを開催し、受入に係る注意点や外国語による簡単な挨拶、案内について講義する。

イ 観光地外国語表記整備

観光地の宿泊施設、観光施設、公共施設等の案内表示にかかる外国語表記等の助言を行う。

◆実施期間 平成 21 年 5 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

◆配置人員 4 名

⑦ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業（県委託事業）

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画する。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

- ・設置場所  
大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館 7 階
- ・運営主体  
北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会

- ・ 構成員  
北海道・青森県・岩手県・秋田県、(社)北海道貿易物産振興会、  
(社)青森県観光連盟、(財)岩手県観光協会、(社)秋田県観光連盟
- イ 事業内容
  - ・ 旅行商品造成支援
  - ・ ホームページの運営 (<http://www.beautifuljapan.or.kr>)
  - ・ 各種イベント出展

(6) その他観光振興事業

① 「もてなしの心」運動推進事業（県補助事業）

ア クリーン大作戦事業

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切に、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部とともに「春のクリーン大作戦」を開催する。

- ・ 実施時期：平成 22 年 4 月から 5 月まで
- ・ 実施場所：県内各地

イ 観光ボランティアガイド県大会の開催事業

県内ボランティアガイド団体構成員等が一堂に会し、先進事例の研究や県内の事例発表など、ガイド相互のスキルアップ、情報交換等の場として観光ボランティアガイド県大会を開催し、県全体の観光ボランティアの底上げを図る。

- ・ 開催時期：平成 22 年 11 月
- ・ 開催場所：青森市（予定）

② 観光振興事業（県補助事業）

ア (社)日本観光協会中央事業への拠出

(社)日本観光協会が実施する全国的又は重点的な事業に対し拠出する。

イ 観光情報等提供事業

本県への旅行の動機付け及び誘客促進のため、旅行情報誌等を活用し、本県の魅力ある観光資源の周知・宣伝を行う。

③ 各種観光関連団体実施事業への参画

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会とタイアップし、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備・誘客促進並びにPRに努める。

イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構及びその支部である青森県観光誘致協議会とタイアップし、東北各県との広域観光の推進を図る。

- ④ 観光写真ポジフィルム整備事業  
県観光総合案内所（アスパム）に設置している観光写真ポジフィルムライブラリーの整備・充実を図る。

## 2 観光キャンペーン事業

### （１）大型観光キャンペーン推進事業【拡充】

本年 12 月に東北新幹線が全線開業することから、首都圏を青森県の雰囲気  
で埋め尽くす「情報交流拠点・東京ジャック」の実施等を柱とするオ  
ープニングキャンペーンを実施する。

#### ① 情報交流拠点の設置

青森と東京を IT で結び現地と首都圏民がリアルタイムで交流・交信  
ができる拠点を設置し物産販売等を行うほか、B 級グルメ屋台村、風景  
や工芸品の展示ギャラリー等を展開し、本県の魅力を強力に発信する。

#### ② 四大祭りの競演【拡充】

青森を代表する祭りである「青森ねぶた」「弘前ねぶた」「八戸三社大  
祭」「五所川原立佞武多」を東京で競演させる。

#### ③ 津軽三味線流し隊の派遣【新規】

東京都内の飲食店等に「津軽三味線流し隊」を派遣し、東北新幹線全  
線開業等の PR を行う。

#### ④ 郷土芸能ゲリラ隊の派遣【新規】

県内各市町村の郷土芸能を、東京都内の公園・歩行者天国など至る所  
でゲリラ的に発表することで、東北新幹線全線開業を印象づける。

#### ⑤ 主要駅での青森県観光情報 PR【新規】

東北新幹線の発着駅である東京駅、上野駅等に本県の祭りや観光地の  
ポスターを集中的に掲出することにより、青森県の観光情報を PR する。

#### ⑥ マスコミ広報【新規】

テレビ局と連携して新幹線開業に関連した本県の情報が全国放送さ  
れる番組タイアップを実施し、新幹線開業を全国に積極的に PR するこ

とにより、本県をより強く印象づけるとともに本県への興味や関心を引き上げる。

⑦ ハガキ・メール大作戦【新規】

新幹線開業や東京ジャック等の内容を記載したハガキ・メールを県民一人ひとりが友人・知人に対して送り、PRを行う。

⑧ 新幹線開業告知

新幹線開業告知ポスター、のぼり、フラッグ等を作成し、県内の交通拠点、観光施設、宿泊施設、商店街等で掲出する。

(2) 青森デスティネーションキャンペーン推進事業【拡充】

東北新幹線全線開業効果の持続・拡大と本県の観光力の強化を図るため、平成23年4月23日から7月22日までの3か月間、全国のJRグループ6社の協力のもと実施する本県初の単独デスティネーションキャンペーン(DC)に向けた各種事業を推進する。

① 全国宣伝販売促進会議の開催

◆開催日：平成22年5月19日(水)

◆開催場所：青森市 ホテル青森

◆参加者：旅行エージェント、JR、マスコミ関係者等 約450名  
自治体、観光関係団体、観光事業者等 約250名

◆エキスカーション：

5月20日(木)～21日(金) 1泊2日

7コース程度を想定(うち1コースは日帰りコース)

参加者約150名

② 宣伝広報

各種ガイドブック・ポスター・広報宣伝物等の作成を行う。

③ 誘客対策

観光キャラバンや商品造成支援等の誘客対策を行う。

### (3) 新幹線開業キャンペーンの展開

首都圏を中心に、ＪＲ東日本が実施するキャンペーン等と連携した観光キャンペーン及び各種メディアを活用した広告宣伝等を重層的に展開する。

#### ① 新幹線開業キャンペーンイベントの開催

東北新幹線全線開業キャンペーンのオープニングイベントとして、ＪＲ仙台駅及びＪＲ大宮駅において青森県観光ＰＲキャンペーンを開催し、東北圏域及び首都圏からの誘客促進を図る。

◆開催時期：平成 22 年 10 月（予定）

◆開催場所：ＪＲ仙台駅 2 階コンコース内イベントスペース  
ＪＲ大宮駅西口改札外イベントスペース

#### ② ＪＲ東日本の重点販売地域指定と連動した観光キャンペーンの実施

東北新幹線全線開業に合わせてＪＲ東日本が県内全域を重点販売地域に指定し、本県向け旅行商品の販売促進を図ることから、これと連動したキャンペーンを実施する。

◆実施時期：平成 22 年 12 月～平成 23 年 3 月

◆実施場所：首都圏等

#### ③ 広告宣伝の展開

各種媒体を活用して東北新幹線全線開業を宣伝するとともに、新幹線を活用した旅行商品の造成を促進し、本県への観光客の増大を図る。

ア 中央紙による新聞広告

◆掲載時期：平成 22 年 11 月

◆発行地域：首都圏

イ 旅行雑誌等へのタイアップ広告掲載

◆掲載時期：「トランヴェール」等

ウ ＪＲ旅行商品パンフレットへのタイアップ広告掲載

◆掲載誌：「大人の休日」、「びゅう」等

### (4) おもてなしキャンペーン事業【新規】

本年 12 月に東北新幹線が全線開業することから、本県のテレビ・新聞・ラジオなどの媒体を結集し、「お客様をまごころで迎えるホスピタリティ」の気運を醸成することとし、



食文化の質の高さを首都圏に強くアピールする。

◆開催期間：平成 22 年 11 月 26 日～28 日（4 ステージ）

◆開催場所：全労済ホール スペース・ゼロ（新宿）

#### （8）観光推進員配置事業（県委託事業）

県のふるさと雇用再生特別対策事業により、県内市町村、観光関係団体、観光事業者等の取組やイベント情報等についての収集・発信を行う「観光推進員」を昨年度に引き続き配置し、県内における新幹線開業に向けた気運の醸成や本県向け旅行商品の造成促進を図る。

◆配置期間：平成 21 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

◆配置人員：2 名

#### （9）各種誘客宣伝対策事業

各種観光イベント等で「あおり紀行キャンペーンスタッフ」による観光PR等を行うとともに、観光ガイドブック等の制作や首都圏等での観光説明会の開催などを通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図る。

##### ① あおり紀行キャンペーンスタッフの任命

各種観光キャラバン等において本県観光をPRするキャンペーンスタッフとして、次の5名を任命する。

- ・三 浦 由紀子（八戸市出身）
- ・三 浦 由 貴（青森市出身）
- ・生 田 啓 后（青森市出身）
- ・下 舘 若 菜（八戸市出身）
- ・梶 浦 郁 美（青森市出身）※新任

（任期：平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

##### ② 観光ガイドブック等の制作

###### ア あおり紀行ガイドブックの制作

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、ホットな話題やイベント、観光施設等の情報を掲載した本県の旅の総合案内として「あおり紀行ガイドブック」を制作する。

◆制作部数：夏・秋号 17 万部

冬号（新幹線開業特集号） 38 万部

◆発行時期：夏・秋号 平成 22 年 5 月頃

冬号 平成 22 年 10 月頃

※春号については、青森DC事業の中でガイドブックを制作。

- イ キャンペーン用ビニール袋の制作  
各種キャンペーンイベントでパンフレット等を配付するためのキャンペーン用ビニール袋を制作する。  
◆制作部数：20,000 枚程度
- ③ ジョイフルトレイン（観光特化型列車）の広告宣伝協賛  
JR五能線で運行されている「リゾートしらかみ」及び、八戸駅を起点として下北半島に運行されている「きらきらみちのく下北号」について、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレットの作成や、車内での各種イベント開催等に対し協賛する。
- ④ 航空路線活用対策  
青森空港振興会議や航空会社等と連携を図りながら、九州地方や中国地方からチャーター便を利用して来県する観光客に対して歓迎イベント等を実施する。  
◆実施時期：平成 22 年 10 月～11 月  
◆実施場所：青森空港
- ⑤ 冬季国体スケート・アイスホッケー競技会での観光PR事業【新規】  
本県で開催される冬季国体スケート・アイスホッケー競技会の会場において、東北新幹線全線開業や本県観光のPRを行う。  
◆大会名：第 66 回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会  
◆開催時期：平成 23 年 1 月下旬～2 月上旬  
◆開催場所：八戸市、三沢市、南部町（予定）
- ⑥ 十和田湖冬物語への協賛  
冬季の誘客対策として、冬季観光の中核イベントである「十和田湖冬物語 2011」に対して協賛する。  
◆実施時期：平成 23 年 2 月（予定）  
◆実施場所：十和田湖畔休屋
- ⑦ 観光イベント等への参画  
JR東日本や（社）日本観光協会、青森県等とタイアップして、首都圏等で観光イベントを積極的に展開する。  
ア 国内観光活性化フォーラム  
◆実施時期：平成 22 年 4 月 8 日（木）  
◆実施場所：青森市文化会館  
◆主催：（社）全国旅行業協会

- イ 旅フェア 2010
  - ◆実施時期：平成 22 年 5 月 28 日（金）～30 日（日）
  - ◆実施場所：千葉県千葉市（幕張メッセ）
  - ◆主 催：旅フェア実行委員会
- ウ 2010 夏の海と山観光展
  - ◆実施時期：平成 22 年 6 月（予定）
  - ◆実施場所：J R 大宮駅
  - ◆主 催：（社）日本観光協会関東支部
- エ 新幹線車両基地まつり in 仙台
  - ◆実施時期：平成 22 年 7 月（予定）
  - ◆実施場所：J R 東日本新幹線総合車両センター（宮城県利府町）
  - ◆主 催：J R 東日本仙台支社
- オ ハイウェイコミュニケーション in 東北 2010
  - ◆実施時期：平成 22 年 8 月（予定）
  - ◆実施場所：仙台市勾当台公園市民広場
  - ◆主 催：東日本高速道路（株）東北支社
- カ 鉄道フェスティバル in 東北
  - ◆実施時期：平成 22 年 10 月（予定）
  - ◆実施場所：仙台市
  - ◆主 催：鉄道の日実行委員会
- キ 2011 冬の旅・早春の旅観光展
  - ◆実施時期：平成 22 年 11 月（予定）
  - ◆実施場所：J R 大宮駅
  - ◆主 催：（社）日本観光協会関東支部
- ク ふるさと祭り東京 2011
  - ◆実施時期：平成 23 年 1 月（予定）
  - ◆実施場所：東京ドーム
  - ◆主 催：ふるさと祭り実行委員会
- ケ その他

県内外で開催される各種観光イベント、観光物産展等に積極的に参画し、観光コーナーの設置、あおもり紀行キャンペーンスタッフによる観光PR等を行う。

#### ⑧ 旅行商品造成対策

滞在型・周遊型旅行商品の造成を一層促進するため、市町村や関係機関と連携を図りながら、大手旅行エージェント等に対し本県の新しい観光素材や観光スポット、自然、食、温泉等の魅力を積極的に情報提供し、旅行商品の造成を促進する。

#### ⑨ 広告宣伝の展開等

各種新聞・雑誌等において本県の観光資源の魅力を紹介する広告宣伝を展開するとともに、マスコミ等の県内取材に対し随時協力する。

### 3 青森県観光物産館管理運営事業

#### (1) 青森県観光物産館管理運営事業

青森県の観光物産の情報発信拠点である青森県観光物産館アスパムの各種展示コーナー、館内テナント、館内会議室等の運営・管理を行うとともに、青森県観光物産館アスパム活性化委員会の提言を受けたパノラマ映画のリニューアルや2階フロアの機能強化等を図る。

##### ① 青森県観光物産館映画制作事業（県補助事業）

東北新幹線全線開業に向け、最新の観光資源の紹介を行うため、パノラマ映画（上映予定時間約22分間）の新作を2か年計画（平成21～22年度）により制作するとともに、イヤホンレシーバーを使い英語・中国語・韓国語による音声紹介も行う。

◆題名：「行くたび、あたらしい、青森」（仮称）

◆公開時期：平成22年12月1日（予定）

##### ② 産業振興施設機能強化推進事業（県委託事業）

県のふるさと雇用再生特別対策事業により、昨年度から引き続き、「産業振興推進員」を配置し、県内の市町村等が実施する各種イベントの情報収集や本県産業振興の拠点施設であるアスパムへのイベント誘致を行い、アスパムの機能強化及び情報発信力の強化を図る。

◆配置期間：平成21年12月1日～平成24年3月31日

◆配置人員：2名

##### ③ 施設管理運営等事業

###### ア 館内展示施設等管理運営

13階展望台・2階パノラマ映画など各種展示コーナー及び物産販売店・飲食店、貸会議室・イベントホール等の管理・運営を行う。平成23年1月に開館予定の青森市文化観光交流施設と連携を図るほか、2階フロアの機能強化を図るため、郷土料理の実演や調理教室開催などの新たな魅力づくりに取り組む。

###### イ イベントによる誘客対策等

「春まつり」や「まるごと市町村まつり」など既存イベントの内容強化や、「あおもり映画祭」や青い海公園など周辺で開催されるイベントとのタイアップなど、魅力あるイベントの開催や誘致を行う。また、ホームページやブログ、情報紙などによる各種広報事業を行う。

## (2) 青森県地場セレクト運営事業

地場産品の販路拡大を図るため、県内各地から特色あるこだわりの逸品やストーリー性のある商品を集め、「青森県地場セレクト」の運営を行う。販売アイテム数の増加や実演販売など店頭イベントの充実強化を図るとともに、おすすめ商品や季節商品などの各種提案・展示を行うコーナーを新設し、積極的に宣伝・紹介を推し進める。

## 4 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館アスパム来館者等の利便性向上のため駐車場運営及び周辺を含めた施設活性化策を行う。

### (1) 一般駐車場運営

一般駐車場については、引き続き、自動精算機を活用した24時間営業の実施、館内利用者への割引サービスの提供、青森市内ホテル宿泊者に対する特別価格設定により、利用者増を図る。

### (2) 臨時駐車場運営

イベント開催時等における臨時駐車場の確保と案内誘導の充実を図る。

### (3) バス駐車場運営

団体客等が利用する貸切りバスの駐車場を確保するとともに、夜間のバス駐車場利用拡大による収入増を図るほか、屋外イベントの試験的实施など、今後も有効活用を図っていく。

### (4) 「あおもり光のファンタジー」事業【新規】

東北新幹線全線開業を控え、青森市内の夕方から夜にかけての周遊性を促進し、近隣商店街などエリアと一体になった都市型・滞在型観光の魅力向上をめざすとともにアスパムへの誘客を図るため、建物のライトアップや周辺へのイルミネーションの設置等を行う。